

在日米軍・第5空軍司令部 ジェリー P. マルティネス 司令官殿

防衛省 小野寺五典 防衛大臣殿

防衛省北関東防衛局 吉田廣太郎 防衛局長殿

横田基地では2012年以降、米軍による降下訓練が、年間数百人規模で、激しく繰り返されています。

日常的に繰り返されているC130による低空飛行訓練の騒音に悩まされ続けている基地周辺住民にとって、敵地に潜入する特殊部隊の訓練であるパラシュート降下訓練を、このC130を使って大規模に実施されることは許し難いことです。

今回も、米空軍は4月9日から13日までの予定で、パラシュート降下訓練を、200名から250名程度で行うと通知していました。

この訓練中の4月10日、羽村市の第三中学校の校庭に、パラシュートが落下するという、起きてはならない事故が発生しました。

半年前の2017年11月15日にも、基地の中に落下したとは言え、物料投下訓練中30キロの箱が外れた事件も起こしています。

私たち日本共産党福生市議団は、

1. パラシュート降下訓練の即時中止と今後一切の訓練を行わないことを、強く求めます。
2. CV-22オスプレイの配備が進められていますが、このオスプレイも同等の訓練を行うとしています。あらためて、CV-22オスプレイの飛来・訓練・配備反対を表明します。
3. 米軍に対して厳重に抗議し、直ちに中止することを強く要求するとともに、こうした計画を自治体に情報提供するだけで、住民の願いを理解せず、ただ垂れ流すだけの防衛省・防衛局に対しても抗議するものです。

2018年 4月11日

日本共産党福生市議団 代表 奥富喜一
池田公三